

4-3 共通指針

1 法面

1. 構造及び形態については、できる限り周辺の景観と調和させ、緑化に努めること。
2. 安全上やむを得ず実施する法面工についても、できる限り緑化可能な工法の導入に努めること。

●特性・視点

- ・道路の法面などは連続的で規模が大きく非常に目立ちやすい存在であるので、できる限り周辺の地形になじむ工夫をすることが望まれる。

●位置・配置

- ・自然地形になじまない大きな法面が生じないように、道路や施設の位置、配置に配慮する。

●構造・形態

○切土法面

- ・植生による法面処理を基本とし、時間の経過と共に周囲の景観に同化させるよう配慮する。
- ・できる限り穏やかな法面勾配を採用し、法面から生じる圧迫感を軽減する。
- ・盛土部との連続性に配慮してラウンディングを行う。
- ・連続した法面ではなるべく統一した法面処理とすることが望ましい。
- ・法尻部分に自然石風の擁壁等を併用することで道路内景観がスッキリしたものになる場合がある。

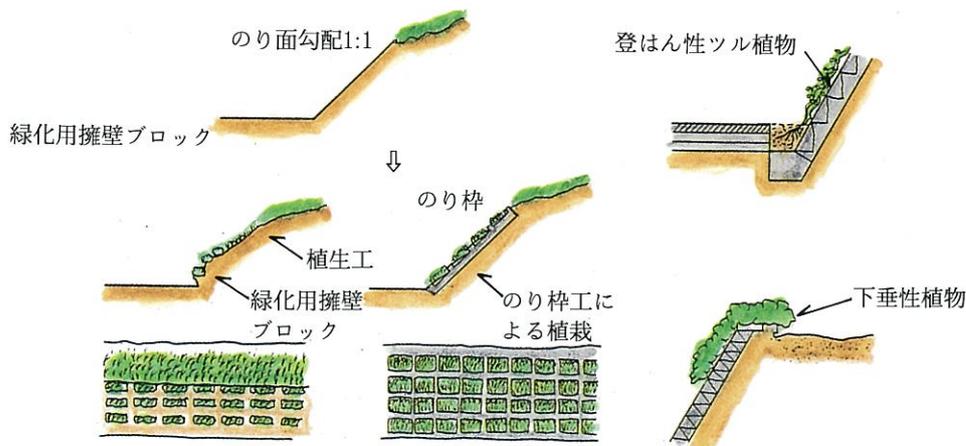
○盛土法面

- ・盛土法面には周辺植生と調和する植生工により緑化することを基本とする。

●緑化

法面の植栽にあたっては、以下の点を配慮して周辺の自然環境との調和を図ることが重要である。

- ・法面の自然回復に努める。(表土の復元)
- ・周辺の植生との調和を図る。
- ・周辺の緑との視覚的な連続性を高める植栽構成とする。



a) 緑化用擁壁ブロックによるのり面の縮小

b) 擁壁の緑化

のり面が急な場合ののり面緑化の考え方



生活環境保全林整備事業
施工中の法面（平田市）



施工後の法面
急斜面に潤いのある緑ができた。



角山農道（海士町）
岩肌面への植生



深田グリーンクラブ（鹿島町）
小段上の植栽で斜面の修景



石見海浜公園（浜田市）
なだらかな法面を、季節感のある花木で修景している。



林道澄水山線（島根町）
片栈橋にて切り取り法面を最小にし、従来の自然を残している。



県立国際短期大学（浜田市）
法面は緑に、法尻は草花で修景

2 擁壁

構造、形態、意匠及び素材については、できる限り周辺の景観と調和させるとともに必要に応じて周囲の緑化に努めること。

●特性・視点

- ・擁壁は目立ちやすい構造物であるため、周辺景観と調和し、かつ擁壁の持つ冷たい印象や圧迫感をできるだけ和らげるような素材の活用や植栽の併用を検討することが望まれる。

●位置・配置

- ・できる限り擁壁が生じないように、道路や施設の位置、配置に配慮する。

●規模

- ・延長はできる限り短く、高さは低くするよう配慮する。

●素材・表面処理

- ・コンクリート擁壁の場合は擁壁自体の構造を工夫することや化粧型枠、タイル張り、目地を入れる等の表面処理を施して景観を改善することが望ましい。
- ・ブロック積擁壁の場合は、緑化ブロック、色付ブロックなどにより多様な周辺景観に調和させることが望ましい。
- ・石積擁壁の場合は、現地採取可能な石材を積極的に活用する。

●緑化

- ・つる性植物により壁面を修景する。
- ・擁壁の前面に植栽スペースを設け、壁面を部分的に隠蔽する。
- ・擁壁の天端に植栽を行う。



湖北中学校（松江市）
化粧型枠による表面処理



プラバホール（松江市）
化粧型枠により、縦目地をデザイン



万葉公園（益田市）
自然石擁壁



松江工業高等学校（松江市）
擁壁前面の植栽

3 護岸

1. 構造、形態、意匠及び素材については、できる限り周辺の景観との調和や生態系に配慮するとともに、親水性の確保に努めること。
2. 必要に応じて護岸周辺の緑化を図るよう努めること。

●特性・視点

- ・護岸は流水から川岸や堤防を保護する機能が果せる範囲で、人と水との触れ合いや、周辺環境の調和に配慮する。
- ・優れた自然環境を有する地域においては、動植物などの自然生態系にとくに配慮した整備が望まれる。(多自然型護岸)

●位置・配置

- ・親水護岸を検討する場合は、自然の生態系、周辺地域のニーズ、他施設との関連性等を考慮し、その施設の効果が十分見込まれる位置を検討すること。
- ・人々が水に触れることができる護岸など親水性のある施設については、従前より危険な状態とならないように、安全性に十分配慮すること。(浅い場所、流れの緩やかな場所に配置)

●構造・形態

- ・人々が容易に水に近づくことができるよう護岸の構造や形態を工夫する。
(《例》護岸の緩勾配化や階段化)
- ・周辺の景観や自然環境と調和した水辺の表情を演出する。
(《例》柳、葦、菖蒲等の植樹植栽)

●素材

- ・周辺の景観に調和し、生態系を含めた自然環境に適応した材料を使う。
- ・石積護岸により、表情豊かな景観を演出したり、地域の特性を表現する。
- ・ブロック積護岸については、緑化ブロックや魚巢ブロックなど、導入する場所を考慮し、素材選定に工夫を凝らす。
- ・現地採取が可能な場合には、河原の石を護岸素材として活用する。



津和野川（津和野町）
石積護岸

●緑化

- ・水域と陸域を違和感なく結び付けるよう、修景緑化に配慮する。
- ・垂直に近いコンクリート護岸などの場合は護岸天端からつる性植物を垂らす等、景観を柔らかくする工夫をする。



北公園（松江市）
親水護岸



バーデンバーデン（ドイツ）
コンクリート護岸をツタ類で緑化

4 防護柵

1. 構造、形態、意匠、素材及び色彩については、周辺の景観と調和するよう努めること。
2. 安全性及び維持管理に支障のない範囲内で、周囲の緑化に努めること。

●特性・視点

- ・防護柵は護岸、道路からの転落防止や車道と歩道を分離するなどの安全性が確保できる範囲で美観を高める配慮が必要である。

●構造・形態・素材・意匠

- ・安全性に支障のない範囲で、設置される場所の特性に応じた構造・形態・素材・意匠を工夫する。
- ・海岸や湖沿の道路など眺望の良い場所では、その妨げとならないよう配慮する。
- ・他の景観要素とのバランスや統一性に配慮する。（照明、信号、標識等）
- ・素材としては、地場材を活用することも考えられる。（石材、木材等）

●色彩

- ・緑などを背景とする防護柵の色彩は、周辺の自然景観に馴染むよう配慮する。



国道431号（松江市）
ガードパイプを使用して眺望を確保



摩天崖（西ノ島町）
擬木による防護柵



楽山公園付近（松江市）
木材の防護柵で周辺との調和を図った



国道9号相生町（松江市）
鎖を用いてソフト感を演出している



主要地方道松江鹿島美保関線（島根町）
亜鉛メッキのガードレール



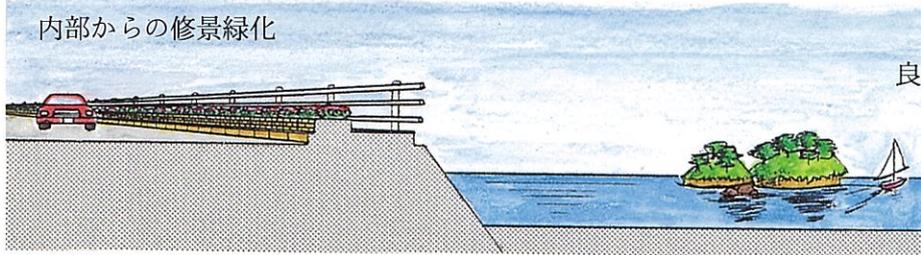
県道東出雲大東線（八雲村）
目立ちにくい亜鉛メッキのストーンガード

●緑化

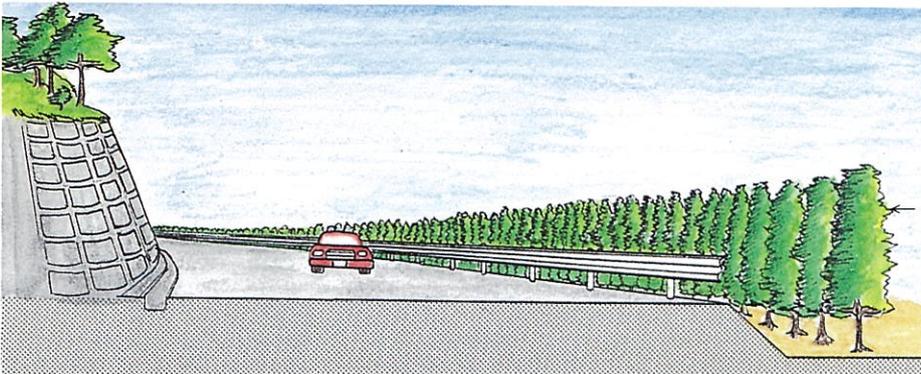
- ・良好な景観を保全すべき地域では、防護柵の印象をやわらげるため、必要に応じて内、外からの視点に対する緑化修景を施す。

《例》

内部からの修景緑化



良好な景観



外部から道路が見えないように修景

5 舗装

素材については、地域の特性や施設の用途に配慮するとともに、意匠及び色彩が周辺の景観と調和するよう努めること。

【車道部】

●特性・視点

- ・特に景観上配慮が必要な場所では、安全性や機能性に支障のない範囲内で舗装の素材や色彩等に工夫をすることも効果的である。



出雲合同庁舎前（出雲市）
明るい雰囲気インターロッキングブロック



カラーアスファルトの舗装（津和野町）
マサ土の自然な色合いが歴史的な街並みと調和している

【歩道部】

●特性・視点

- ・歩道や自転車道は歩きやすさや自転車の走行性を確保した上で、舗装材の持つ特性を考慮して、沿道建築物、施設などと調和を図り、地域環境や道路の性格にふさわしい舗装を検討することが望ましい。

●形態・素材

- ・舗装材の持つ特性を考慮して、周辺環境に調和した形態、素材の舗装を行う。
- ・雨天時の水たまり、滑りに対しても十分配慮して、透水性舗装やインターロッキングブロックの採用を検討する。
- ・設置される地域特有の素材を用いて、景観を演出することも配慮する。
- ・補修工事のしやすさ、材料入手のしやすさなどを含めて維持管理を配慮した適切な素材を選定する。

●意匠・色彩

- ・一般の道路では、落ち着いた印象の控えめな意匠、色彩が好ましい。
- ・地域の顔となる道路については、華やかな雰囲気を創り出すよう工夫する。
- ・自然景観の良好な地域の道路では、自然に調和した材質、色彩を用い、周辺の良質な景観を引き立たせる意匠（デザイン）を工夫する。
- ・歩道と自転車道が併設されている場合は舗装に変化を与えて、両者の通行区分の違いを表現するとよい。
- ・サインブロック等舗装のデザインパターンに取り込む検討も望まれる。



万葉公園（益田市）
來待石を用いた舗装



石見海浜公園（浜田市）
インターロッキングでの広場舗装



県庁前（島根県）
カラー平板の使用による色模様の変化



明るい雰囲気への歩道（出雲市）

6 駐車場

位置については、機能に支障のない範囲内で周辺の景観との調和に配慮するとともに、周囲及び場内の修景緑化に努めること。

●特性・視点

- ・安全に駐車できる機能に加え、植栽等の活用により周辺環境との調和を図ると共に、外部からは目立ちにくくする工夫が望まれる。

●位置・配置

- ・施設に付帯して設置される駐車場については、前面道路から見えないように建物の裏側に設置するなどの工夫が望まれる。
- ・立体駐車場については、地域の景観上重要な場所への配置は避け、またやむを得ず配置する場合もできる限り目立たないよう工夫する。



好ましくない



駐車場面を歩道より下げて配置

好ましい

●舗装

- ・積極的な景観形成が求められる地域では、できる限り潤いを感じさせるような素材、デザインを工夫する。

●立体駐車場

- ・立体駐車場については、構造、形態、意匠及び色彩を工夫し、周辺の景観との調和を図る。



島根物産館（松江市）
周囲を植栽し、舗装を工夫をしている



白潟本町スティック（松江市）
本館と調和した立体駐車場

●緑化

- ・周囲や前面道路との境界に植栽を施し、駐車場内を見えにくくする。
- ・場内においては景観的にアクセントを付けたり、うるおいを持たせるため緑化修景を施す。



石見海浜公園（浜田市）
駐車場の周囲の植栽が景観を和らげている



裏匹見峡（匹見町）
大自然に囲まれた駐車場



プラバホール（松江市）
駐車場の周辺に植栽をしている



県立国際短期大学（浜田市）
ゆったりとして緑の豊かなイメージを与える駐車場

7 標識・公共広告

形態、意匠、素材及び色彩については、周辺の景観と調和するよう努めるとともに、できる限り適正な設置数及び場所として、地域や沿線の統一性に配慮すること。

- 特性・視点
 - ・標識、公共広告等は、その機能を果たし得る範囲で道路の美観を向上させるように配慮する。
- 情報の整理
 - ・標識、公共広告等などは、できる限り数を少なくし、適性の位置に設置する。
 - ・主要な情報が視認されやすいように情報を整理する。
 - ・標識等はできるだけ共架する。
 - ・標識等を歩道橋、擁壁、橋脚等に添加する。
 - ・標識、信号機、照明等の支柱を共架する。
- 形態・素材・意匠・色彩
 - ・支柱はできる限り細くてシンプルな目立たないデザイン、色彩を用いるよう配慮する。
 - ・同一地域や同一路線内では、高さ、意匠、素材及び色彩を統一する。
 - ・歴史的な街並みや自然の豊かな地域など地域性を配慮することが望ましい場合は、木材や自然石を用いるなどその地域の特性を表現する素材、形態、意匠及び色彩を工夫する。



匹見町サイン計画



八雲村サイン計画



大社町サイン計画



日原町サイン計画

8 照明施設

位置、形態、意匠、素材、色彩及び明るさについては、周辺の景観と調和するよう努めること。

●特性・視点

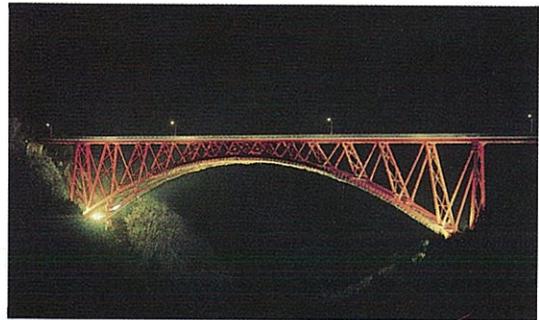
- 照明施設を工夫することによって照らし出される空間を味わい深く見せることができる。こうした照明の効果に十分配慮し、設置場所に応じた照明施設を検討することが必要である。

●形態等

- 車道の照明はできる限りシンプルな形状が好ましく、道路線形に沿って規則正しく配置する。
- 歩道、公園等の照明は、夜間の光による演出効果を十分意識して、光源の高さ、配置及び種類等を検討することが望ましい。
- 広場や橋詰め等特殊な箇所ではフットライトの使用も味わいが深まり検討の価値がある。
- 街路樹の光によるデコレーション、地域のシンボルのライトアップ等、特に見せたい対象のある所では、夜間の光による景観形成を行うことが望ましい。



三瓶自然館のライトアップ（大田市）



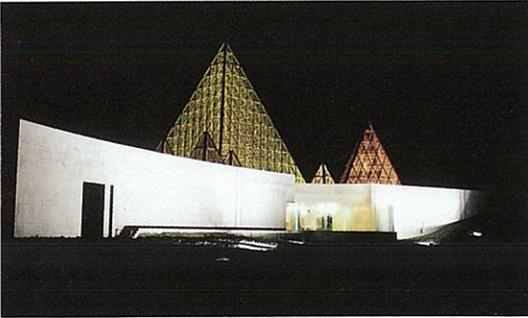
奥出雲おろちループ（横田町）
橋梁の雄大さをライトアップで強調

●意匠・素材・色彩

- 地域の個性を生かした意匠、素材及び色彩を用いることも配慮する。
- 色彩は低明度・低彩度のものが好ましい。
- 同一地域や同一路線内では、高さ、意匠、素材及び色彩を統一する。
- 他の景観要素（信号、橋等）とのデザインの統一性に配慮する。
- 照明施設は、本来の照らす機能に加え、昼間にも周囲の景観と調和する色彩、デザインとなるよう配慮する。



市街地の夜間照明（平田市）



サンドミュージアム（仁摩町）
特徴のある屋根が夜空にくっきりと浮かぶ



国道9号バイパス（松江市）
照明と信号の共架でスッキリ

9 緑の保全と緑化

1. 植栽に当たっての樹種の選定や配置については、良好な空間を創造するよう留意するとともに、周囲の景観に配慮すること。
2. 公共事業等の実施に伴い支障となる樹木等については、移植等の方法により修景に生かすよう努めること。

●特性・視点

- ・緑は潤いのある景観をつくるだけでなく、生活環境の保全（騒音の低減等）、防災（火災延焼防止等）など多様な機能と効果をもっている。
- ・緑は人々にやすらぎや潤いを与える景観の重要な要素である。特に都市部の道路においては、その果たす役割は大きい。

●緑の保全

- ・地域のシンボルや文化財に準じるような価値の高い樹木等は、保全を心がけるとともに、良好な景観要素として積極的に活用する。
- ・公共事業等の実施に伴い、樹姿・樹勢に優れた既存の樹木がある場合は、支障となる樹木等についてもできる限り保全し、やむを得ない場合でも移植などを行うよう努める。

●緑化

- ・植栽に当たっては、成長した段階での景観を頭に描いて、配置や密度を決定する。
- ・緑化に当たっては、良好な景観となるよう、効果的な配置とする。
（シンボルツリー、アイストップツリー等）



山ももを残して道路整備（大東町）



道路中央に保存された松の木（西郷町）

- 樹種の選定に当たっては地域の景観特性（市街地、田園地、山地等）を配慮して決定する。
- 地域や場所の特性を表現するため、在来樹種等を選択することも検討する。
- 海辺や、交通量の多い幹線道路の沿道など、緑化を行う地域や場所の環境に応じて適正な樹種等を選択する。
- 市街地及び集落周辺では、四季を通じての楽しみが生まれるような樹種構成となるよう配慮する。



益田運動公園付近（益田市）
風格のある街路樹



松江鹿島美保関線（島根町）
チェリーロード

● その他

- 量的な確保のみを目的とするのではなく、その場所にあった効果的な緑化になるよう配慮する。
- 街路樹に加え周辺にある屋敷林や公園樹林、山林等を取り込むよう配慮する。

10 展望広場等

計画地において、特に眺望に優れた箇所がある場合には、展望広場、ポケットパーク等としての整備に努めること。



国道314号奥出雲おろちループ（横田町）
ループ橋を一望する平家平展望台



島根町総合公園（島根町）
広場から日本海を望む

1 1 景観に配慮した占用行為

公共用地における工作物の占用行為については、位置、形態、意匠及び色彩について、できる限り周辺の景観と調和したものとなるよう指導すること。

●定義

- 電柱や停留所の設置などの、公共空間において占用許可事項に基づき施行される事業または行為。

《例》 電柱、停留所、ストリートファニチャー（ベンチ、彫刻、ごみ箱、電話BOX、モニュメント等）、自動販売機、朝市等

●特性・視点

- 多種多様で配置、デザインに統一性が欠け、景観を乱雑にしている場合が多いので、公共空間の景観を向上させるように工夫する。

●電柱

- 周辺の景観との調和を図るため、景観形成上特に重要な地域においては、できるだけ電線は地中化または民地内に移設する。
- 電柱は街路樹が成育しても架線に影響がでない位置に設置する。



電線地中化（松江市）
すっきりとした街路景観



電柱後退（出雲市）
屋根の色、高さ、壁の色等について、建築協定を結んで美しい住宅地を形成



電線が地中化され空がスッキリ（松江市）



電柱をつる性植物で修景（出雲市）

- ストリートファニチャー（ベンチ、彫刻、ごみ箱、電話BOX等）
 - ・ シンプルで飽きのこないデザインとする。
 - ・ 景勝地や自然環境に恵まれた地域では、天然の素材（木材、自然石）を活かしたデザインとする等、周辺の景観との調和に配慮する。
 - ・ デザイン、色彩は、舗装、防護柵、照明等とのデザイン的な調和を図る。
 - ・ 他の施設と兼用できるものについては、整理、統合を図る。



スティック周辺（松江市）
鮮やかな色合いの電話ボックス

● 自動販売機

- ・ 自動販売機の単独設置は景観上好ましくないので、できるだけ建物の中に設置する。



古墳の丘古曾志公園（松江市）
案内所内に設定した自動販売機



出雲文化伝承館（出雲市）
公衆トイレ脇の建物内に設置された自動販売機

1 2 維持管理

維持管理に当たっては、周辺の景観と調和するよう努めるとともに、より良好な景観形成を図るよう配慮した修繕及び補修に努めること。

- 特性・視点
 - ・維持管理に当たっては、「汚さない工夫」、「速やかに修復する工夫」、「良好な状態を保つ工夫」を念頭にきめ細かな管理を進めることが大切である。
- 維持管理方法
 - ・常に豊かな緑景観を得られるように適性な剪除など維持管理に努める必要がある。
 - ・舗装路面の管理状態は景観を大きく左右する。清掃、舗装のオーバーレイ、マーキングの補修など、定期的な点検、補修作業がなされることが望ましい。
 - ・施設に対しては、定期的な点検を行うと共に、必要に応じて、清掃、塗装の補修、取替等のスムーズな管理を検討する。
- 計画段階での配慮事項
 - ・事業執行後の維持管理を計画段階で十分に配慮する。
 - ・維持管理に費用のかかる場合はその手当てを考慮しておく。
 - ・維持管理のしやすさを考慮した計画、設計を行う。
- 事業完了後の配慮事項
 - ・計画的な維持管理システムを確立する。
 - ・維持管理主体、方法、時期等を明確にし、常に最良の状態を維持していくように心がける。
- 住民参加への展開
 - ・景観形成をまちづくりの一環と認識し、計画段階より維持管理への住民参加及び利用者の合意形成を促進するよう働きかける。



海岸の清掃（大社町）



忌部花街道（松江市）
住民参加の花壇づくり



道路の定期清掃

(写真提供：建設省松江国道工事事務所)

1 3 駅前広場等

4-3

島根県公共事業等景観形成指針
共通指針

○鉄道、空港、港湾等のエントランス広場は、各種交通機関の円滑な相互連絡を図る交通機能に加え、都市の玄関としての広場空間機能を担っている。その整備にあたっては、その都市の顔として、旅行者や居住者の気持ちや和らげ、都市に対する良好なイメージを与える個性豊かな景観を創造するよう配慮すること。

- ・駅前広場の施設の設計については、共通指針および施設別指針の該当項目に準じること。



松江駅前広場（松江市）



石見空港ターミナル（益田市）



浦郷港ターミナルビル（西ノ島町）

1 4 工事中の留意事項

- ・工事箇所においては周囲の景観を乱さないよう配慮すること。



津田交差点（松江市）
完成イメージパースの看板



津田交差点（松江市）
プレハブの仮設事務所を塀で囲い、道路からの視線を和らげている